

戦前の高等小学校の家事科教科書に掲載されていた 保健衛生関係教材

菅修一

発表者は以前、職場の仲間と共に戦前の国定高等小学校読本教科書に収載された保健衛生関係の教材について紹介したことがある¹⁾²⁾。今回はいずれも当時の文部省による著作である国定教科書の『高等小学理科家事教科書 第一学年児童用』(1914年),『高等小学理科家事教科書 第二学年児童用』(1915年),『高等小学家事教科書 児童用 第一学年』(1933年),『高等小学家事教科書 児童用 第二学年』(1934年),『高等小学家事教科書 児童用 第三学年』(1936年),『高等科家事 上』(1944年)に収録された保健衛生関係教材を紹介したい。当時、義務教育は尋常小学校6年間だけであった。中学校(旧制),高等女学校に進学することが家庭の経済事情等のため出来なかった場合、せめて高等小学校での学びを終えて、社会に出た子どもたちがいた。そんな子どもたちに与えられた保健衛生の知識がどのようなものだったのか知りたいと思う。なお、本稿で紹介する各教科書を学んだのは女子児童だけであったことにも留意しなければならない。

文献

- 1) 菅 修一,辰野 直子,寺升夕希,藤村 三枝. 国定の高等小学読本に採用された衛生教材(前編). 医学図書館. 2008;55(3):251-256.
- 2) 菅 修一,辰野 直子,寺升夕希,藤村 三枝. 国定の高等小学読本に採用された衛生教材(後編). 医学図書館. 2008;55(4):366-370.